

天一国理想を実現させる孝子・孝女となろう！

「天正宮 入宮・戴冠式」10周年で式典

天一国4年天曆6月13日(陽曆7月16日)午前、韓国・清平の天正宮博物館で、「(天宙平和の王)天地人真の父母様 天正宮入宮・戴冠式10周年記念行事」が行われ、元老食口、摂理団体長、国家メシヤ、牧会者など約500人の指導者が参加しました。記念式では、真のお母様が時折涙を浮かべられながら約25分にわたってみ言を語られ、全世界の食口・祝福家庭に対し子女としての責任を果たしてほしいと懇切に訴えられました。

み言に先立ち、司会を務めた柳慶錫・韓国家庭連合会長が「天正宮入宮・戴冠式」の摂理的意義を説明。天と真の父母様が天地開闢の後天時代を開き、天一国創建の内的基台をすべて準備してくださったことを強調しながら、私たち祝福家庭は神氏族メシヤを勝利し、天一国理想をこの地上に実現させる責任があると訴えました。

また、文妍娥・世界平和女性連合世界会長は記念の辞で、真の父母様が「天宙平和の王」として即位された「天正宮入宮・戴冠式」の重要性を指摘した上で、「天一国時代において、サタンの影と痕跡のない祝福家庭として、73億人類が真の父母様のもとに帰るその時まで、VISION2020のみ旨を実現するために子女として歩んで行くことを決意し出発するひと時となることを願います」と語られました。

天福宮「天心聖歌隊」による荘厳な讃美が会場に響き渡った後、真のお母様が登壇してみ言を語られ、「今日は歴史的な日です。人類歴史、聖書歴史6000年において奇跡のような日です」と強調。この日を迎えるまでの摂理的背景を説明された上で、「真の父母様の路程を世界の人々が知れば、涙を抑えることができないでしょう。難しい環境の中で、神様のみ旨を実現して差し上げるためあらゆる逆境を克服し、前のみを見つめて歩んでこられたのが真の父母様です」と述べられました。

最後に、お母様は全世界の祝福家庭が子女としての責任分担を果たすよう激励されながら、「これから成し遂げられる『天地鮮鶴苑』の摂理に対して、皆さんが同参してくれることを願います」と語られました。(3-4面にみ言の概要)

記念行事は、金起勲北米大陸会長のリードで億万歳三唱を行い、閉会しました。



VISION2020の勝利に向けて戦略会議

翌17日午前、天正宮博物館で、「天地人真の父母様 天正宮入宮・戴冠式記念行事」祝勝会と「天地人真の父母様主管 VISION2020 特別戦略国家選定会議」開会式が行われました。

祝勝会では、宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長と金起勲北米大陸会長が所感を述べました。

緑色の美しい服をお召しになった真のお母様はみ言に先立ち、真のお父様が生前に使われたネクタイピンの緑色の翡翠で作った指輪を見せながら「緑色は平和を象徴する」と語られた上で、VISION2020を勝利した国家にお父様とお母様を象徴する指輪と服を下賜する考えを明らかにされました。

引き続き19日までの3日間、全大陸から選抜さ

れた21カ国の代表者による戦略発表と質疑応答を実施。

20日には、韓国、日本、アメリカの順にVISION2020の7年路程の後半3年半の戦略発表が行われました。

その中で宋龍天総会長は、日本では2020年までに各家庭が「家庭天一国」、「氏族天一国」を成し遂げられるよう祝福家庭教育を推進していくことを表明。また、二世圏の活性化と祝福推進を土台にして、神氏族メシヤの勝利と救国救世基盤の造成を通じて、100万家庭連合会員の獲得を果たしていくビジョンを発表しました。さらに、このビジョン達成の試金石として、2020年に真の父母様を日本にお迎えし、青年2万人を集めて祝福結婚式を行う決意を明らか

にしました。

真のお母様をお迎えして行われた閉会式では、13カ国の戦略国家候補国が選定・発表されました。今後は世界本部による実態調査を経て、真のお父様の聖和4周年に合わせて最終戦略国家(7カ国以上)が発表される予定です。

発表の後、真のお母様がみ言を語られ、「皆さんが“勝戦鼓”(いくさに勝った合図に鳴らす太鼓)を持って来る時、私が一緒に強く抱きしめて、天の前に『ありがとうございます、長い間待たれましたね』と(言いたいのです)……『人生が終わる日までに必ず勝利します』(と決意した)ことを思い出す、きょうの日になるように願います」と激励され、4日間の会議が幕を下ろしました。

摂理歴史の同参者となろう

2016年7月16日 韓国・天正宮博物館

以下のみ言は7月16日、真のお母様が「天地人真の父母様 天正宮入宮・戴冠式 10周年記念行事」で語られた内容を翻訳し、要点を整理したものです。

* * *

歴史的な日です。六千年の人類歴史の中で奇跡のような日です。きょう、皆さんは実感していますか？ 実感しているなら、皆さんはどれだけ幸せですか？ 幸せは一人だけの幸せでは幸せとは言えません。

神様は天地万物、アダムとエバを創造され、人間を中心とした夢がありました。万物とは違い、人間には責任をくださいました。人間がその責任を完成する日が神様と一体となる日です。その日は人間において、限りなく栄光であり、幸せな日に違いありません。全知全能なる神様は失敗という言葉を使うことも出来ず、そのような言葉があってもいけません。

ですから摂理歴史をなしてこられるしかありませんでした。いつも人間がその責任を果たさなければなりません。神様は、イスラエル民族を選び立てられ、ご自身が直接主管されることの出来る独り子、独り娘を通して、真の父母の位置まで出て来ようとされた夢を成すために、二千年前、イスラエル民族の中で、マリヤを通して、独り子、イエス・キリストが誕生しました。どれだけ、天は喜んだでしょうか？ 今までサタン世界にたくさんの人間たちがいました。その中で、たった一人、神様が直接主管することができ、自分の息子だと言うことができたのです。

当時マリヤはどんな責任を果たさなければなりませんでしたか？ 結果的にマリヤは責任を果たせませんでした。独り子、イエス・キリストの環境圏を作って差し上げることが出来ず、十字架で亡くなられるようにした張本人でした。

摂理の内容を見つめることが出来ず、予測することも出来なかった無知な人間を通して、天は摂理歴史を続けて来られるしかない、気の毒な事情がありました。もし当時、イエス様が独り娘に出会い、聖婚されていたならば、どのようになっていたでしょうか？ 十字架で亡く

られ、再び来ると言うようなこともなかったでしょうし、再び来て、小羊の婚宴をするとも言われなかったでしょう。当時イエス様がすべての蕩滅復帰の摂理歴史を勝利的に成し遂げていたならば、まさに天の父母様が共にあられる場となり、地上天国が成されていたでしょう。しかしその環境を作って差し上げることが出来なかったのです。

そのためキリスト教の二千年の摂理歴史は、独り娘の基盤を探して来た摂理歴史でした。天は一度、任せた責任を果たせなかった個人や国を再び使われようとはされません。ですから摂理歴史がアジアに移って来たのです。

◇ ◇ ◇

2001年に神様王権即位式を天宙清平修鍊苑で行って差し上げました。当時真の父母様は主に南米で摂理歴史を繰り広げておられました。当時この国に責任を持ち、機関に責任を持った人々が先頭に立って修鍊苑の聖殿を建てましたか？ 摂理の時は近づいて来ているのに、その時を知っていた人は地上に誰もいませんでした。皆さんを代身して、摂理歴史の完成を見せてくださった大母様に対して感謝しなければなりません。

当時お父様は祝福家庭の皆さんに、イエス様の名前でもなく、真の父母様の名前でもない、祝福家庭の誰々、個人の名で報告祈禱をするように語られました。とてつもない祝福でした。天が、真の父母様が祝福家庭の個人を子女として認められるという意味でした。これがどれだけ感謝なことでしょうか。そうして最後に（私たちに）願われたみ言が「血統を汚してはならない」、「人権を蹂躪してはならない」、「公金を乱用してはならず、奪い取ってはならない」ということでした。

（2006年に）天正宮博物館で入宮・戴冠式をしたのですが、それは誰が建てましたか？ 皆さんが建てましたか？ 天苑団地の中にある建物はすべて霊界で主導し、建てられました。二千年前、イエス様の時とは違い、独り娘を誕生させた大母様は一生を天の摂理とみ旨のために生きました。そのため、誰よりも神様をよくご存知な方、真の父母の環境圏がどのようになるということを

べてご存知のお方です。

ただ天が信じて、すべての役事が出来るように環境を作ってくださり、大母様がその業を成し遂げました。

考えてみてください。天正宮博物館が建てられていなかったなら、天宙平和の王、真の父母様入宮・戴冠式をどこで行っていたでしょうか？ 天幕で行っていたでしょうか？ 六千年ぶりに摂理歴史の完結を見た日でした。キリスト教歴史二千年間は内容はなかったけれど、外形的にヨーロッパを通して、燦爛たる文化が花開きました。700年、900年経った聖堂がその姿そのままに残っている所があちこちにあります。主人がいなかった当時の文化歴史の跡もそのように残っているのに、真の父母の摂理歴史においてその足跡を残すことができるように、準備した元老指導者がいませんでした。皆さんは悔い改めなければなりません。真の父母と同時代に生きたといっても、真の父母の位相においてどれだけ責任を果たしたのか、孝子の位置に立ったのか、忠臣の位置に立ったのかをよく反省しなければなりません。

皆さんが泣き、慟哭しながら、「それでも許してください、この国を私が見ることができるよう、私の家庭が見ることできるようにして下さって本当に感謝です。今後はより成長した、成熟した子女として責任を果たすのが第一です。誰かを批判したり、良し悪しを言える資格を持った人はこの中に一人もいません。

◇ ◇ ◇

私たちには VISION 2020 に向けて、当面の問題があります。皆さんがどのように責任を果たすのかによって、神様の位相が変わります。真の父母様の位相が変わります。今、外的に全世界では解決することの出来ない皆さんの問題が起きています。

それだけでなく、気候温暖化で地球が熱病に病んでいます。いつどこでこのようなことが起こるかわからない、不安な状態です。このようなことをただ見ているのです



か？どのようにしなければなりませんか？

お父様が世界摂理のために 1972 年、ニューヨークで「科学の統一に関する国際会議」(ICUS)を始められました。世界のブレインともいえる、ノーベル賞の受賞者たちを集めて、科学と絶対価値について討議するよう言われました。その科学者大会が 21 次まで続きました。その過程で責任を果たすべきアメリカがお父様をダンベリー刑務所に送りました。その時、科学者大会の議長はカプラン博士でした。お父様は彼を呼ばれ、共産主義は滅びるというように言いなさいと語られました。挑戦でした。1985 年、スイスのジュネーブにあるインターコンチネンタルホテルで大会を開きました。道路の向かい側にはソ連大使館がありました。そこに集まった碩学たちの前で、共産主義は滅びると宣布しました。その後、共産主義が滅びました。当時、アメリカが危険であり、南米が危険でした。共産主義者たちが世界を占領すると思っていました。当時、ダンベリーでお父様は中南米のニカラグアを救われました。歴史的な事実です。

世界の人々が真の父母の路程を知れば、涙で目がかすむでしょう。そのように困難な環境の中で、初志一貫、天のみ旨をなしてさしあげようと、すべての逆境を意にも留めず、前だけ見つめて来られた、真の父母様の摂理歴史でした。今日、この日が来るまでどれだけたくさんの困難があったかわかりません。皆さんが想像し得ない、たくさんの困難がありましたが、神様の夢を叶えて差し上げようとされた、一片丹心の思いで、今日、このような奇跡のような内容を成し遂げられました。しかし皆さんには責任があったのに、それを果たせませんでした。これからお願いしたい内容があるとすれば、今後の摂理歴史、「天地鮮鶴苑」のために皆さんが共に同参して欲しいということです。

“夢を夢で終わらせてはいけない！”

宋総会長が西埼玉、奈良を巡回



西埼玉教区

韓国で「天正宮入宮・戴冠式 10 周年」「特別戦略会議」などを終え、7 月 21 日に帰国した宋龍天全国祝福家庭総連合会総会長は翌 22 日、早朝から西埼玉教区の「さきたま家庭教会」を訪問、午後からは「熊谷」「所沢」各家庭教会を訪ね、食口たちを激励しました。

さきたま家庭教会では、集まった食口たちの割れんばかりの拍手の中、宋総会長が到着。食口一人ひとりと握手を交わし、真の父母様が共にいらっしゃるという雰囲気の中で、講話が始まりました。

宋総会長は、サタン世界との 21 年間の闘いを経て勝利し、新しい家庭連合という名称に変更できたことの意義を強調し、その新しい出発の為に真の父母様が、私達に 4 大聖物を下賜して下さったと説明。「以前の私と 180 度変わらないといけない、新しくならなければならない。そのためのきょうの集会です」と熱く語りました。

さらに、真のお父様が「夢を夢で終わらせてはいけない。必ず成就しなければならない！」と教えて下さったことに触れ、ヨーロッパにお父様が入ることができるように食口達が特別精誠を尽くして、お父様の入国がなされた証しをしました。

また、今年 7 月 1 日にお母様が 2020 年までの 3 年



①メッセージを語る宋総会長（さきたま家庭教会）②熊谷家庭教会の食口たちと③特別合同礼拝後に記念撮影（檀原家庭教会）④食口を慰労する宋総会長（平城家庭教会）

半路程の出発を宣言され、その出発の為、ハワイ・コナで真のお母様の特別精誠があったことを伝え、「この 3 年半で神氏族メシヤ、救国救世基盤を何としても造らないといけません」と訴えました。

奈良教区

7 月 23 日から 24 日にかけて、宋総会長は、奈良教区の「平城」「大和郡山」「檀原」「かつらぎ」の各家庭教会を巡回しました。2 日間、休む時間もないスケジュールの中でも、宋総会長は、食口一人ひとりに真の父母様の愛が届くように心を配り、その姿に食口たちは、慰労され、励まされ、新たな気持ちで再出発ができるようになりました。

24 日午前、宋総会長は日本の初代天皇・神武天皇陵と檀原神宮に参拝してから、檀原家庭教会に到着。集まった食口たちと記念写真を撮った後、礼拝堂で講話を始めました。

その中で宋総会長は、「家庭連合時代を迎えたので、夫婦が一つになって、お互い神様のように侍りながら生活して下さい」と語り、「自信を持って多くの人と出会い、多くの方にみ言を伝えていくことのできる皆様となって下さい」と激励しました。

VISION2020 の勝利に向けて前進あるのみ！

徳野会長ご夫妻を迎え第 1 地区合同礼拝



①説教を行う徳野会長
②聖歌隊「ノースヒルクワイヤ」
③徳野会長の説教を聴く食口たち
④徳野会長ご夫妻が主礼を務め行われた聖酒式

7 月 23 日、24 日の両日、徳野英治会長ご夫妻が第 1 地区（北海道）を訪れ、牧会者や教区スタッフを始め、多くの食口と交流する時間を持ちました。

24 日、第 1 地区合同礼拝に先立ち、天一国 4 大聖物伝授及び聖酒式が行われました。6 月 12 日の全国一斉の特別教育を受けスタートした 40 日精誠期間が終わり、最初の日曜日を迎え、徳野会長ご夫妻の主礼のもと、第 1 地区の牧会者の家庭 12 人が参加。まず徳野会長ご夫妻が聖酒式を行い、その後牧会者の家庭の聖酒式が行われました。

聖酒式に際し、徳野会長は「悔い改めと感謝で出発し、神氏族メシヤ勝利に向けて今日から本格的な出発です。救国救世基盤を作りましょう」と呼び掛けました。

合同礼拝は、会場となった札幌はなぞの総合研修センターに約 300 人が集まり、インターネット中継を通じた参加者を合わせ、全体で 1000 人以上が参加する中で行われました。

北海道合同聖歌隊「ノースヒルクワイア」による歓迎の歌、花束贈呈、安田公保第 1 地区長の歓迎の挨拶に続いて、徳野久江会長夫人が「先日、伊勢神宮へ行き、神

様へ感謝のお礼参りをして来ました。伊勢神宮が 1200 年の間伝統を守ってきたように、私たちも真の父母様から受け継いだ伝統、歴史を 1000 年、2000 年と守り続ける責任があります。真の父母様と共にあるこの瞬間瞬間を感謝していきましょう」と語りました。

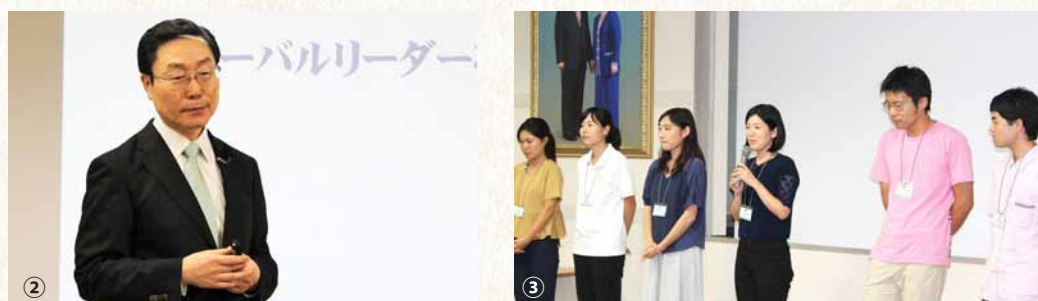
徳野会長は説教の中で、7 月 16 日に行われた真の父母様「天正宮入宮・戴冠式 10 周年記念行事」における真のお母様のみ言を要約しながら、①（血統、心情躁躍、公金の問題に関する）天法 3 力条を絶対視する②涙を流して悔い改め、成熟した子女として責任を果たす③困難な環境下でも前だけを見つめて歩む——ことなどを強調しました。

また徳野会長は、『出来ない』『難しい』などと思っ
てはいけません」「名門家庭になりなさい」とのお母様の激励のみ言に言及。VISION2020 の勝利に向けて並々ならぬご覚悟を示されるお母様のお姿を証しました。

最後に、徳野会長自身の伝道の取り組みを紹介した上で、「神氏族メシヤ活動は、波風を立てることを恐れたら一歩も進みません。勇気と度胸が必要です」と訴えました。

天一国青年宣教師の原点は“孝”の心情

千葉で 40 日伝道中間報告会 & 再出発式



①参加者全体で記念撮影
②激励のメッセージを語る田中副会長
③証しを行う宣教師

7月16から17日にかけて、千葉・浦安の一心特別教育院で「天一国青年宣教師国内伝道40日路程中間報告会及びVISION2020再出発式」が開催されました。1年あまりの海外宣教を終えて首都圏を中心に国内で40日伝道路程（6月19日～7月28日）を歩んでいる天一国宣教師33人と、既に帰国して数カ月から2年程になる天一国宣教師32人の合計65人が参加。伝道40日路程の中間報告会やVISION2020伝道勝利に向けた講話、帰国後各現場で活躍している宣教師たちの証し等が行われました。

初日は、全国9カ所で伝道活動を行っている33人のうち、7人が代表して証しを行い、「真のお母様に喜びをお返ししたい!」という“孝”の心情があふれる時間となりました。

1年以上海外で歩いて日本に戻ったばかりの宣教師たちは、環境的・文化的ギャップを感じることも多いなか、この伝道路程を通して天の父母様との因縁をさらに深める絶好に機会となりました。

2日目は、既に帰国してから数カ月以上経っている第一期から三期生にとってVISION2020に向けて再出発

をする1日となりました。安待日の敬礼式後の早朝には、現在海外の任地にいる宣教師とネット中継を通じて対話を行いました。

また午前最初の講義では、今年5月に天正宮博物館において真の父母様に直接捧げた「孝心と群読」の映像を視聴し、天一国宣教師の原点は“孝”の心情であることを再確認。さらに帰国後、各分野で活躍する宣教師たちが証しを行い、宣教師スピリットをもって日本でみ旨の先頭に立っている姿に、全体が刺激を受けました。

最後に田中富広副会長を迎え、VISION2020再出発式を執り行いました。

参加者たちは、2020年に向けて日本で12人の信仰の子女を立てるという目標と共に、真の父母様のもとの一つの家族としての文化を拡大していくことを誓い、新たにVISION2020に向けて出発をしていきました。

参加者からは、「(父母を中心とした)“家族愛”の宣教師ネットワークは、日本を変えることができると思いました」「私たち天一国青年宣教師のアイデンティティはまさに“孝心”であると確信いたしました」といった感想が寄せられました。

金沢家庭教会献堂 1 周年を記念し「サマーフェスタ 2016」

地域に開かれたイベントとして開催



①メッセージを語る鴨野守広報局長
②挨拶する高松八寿夫第7地区長
③青年メンバーのコーラス
④ヨーヨー釣りをする親子
⑤露店で焼きそばをつくる壮年メンバー

梅雨の合間の晴れ渡った7月18日、石川教区金沢家庭教会は献堂1周年を記念し、地域にも開かれたイベントとして「サマーフェスタ2016」を開催、地元有識者や新規氏族・再復帰のゲストを含む約450人が集まりました。

第1部のエンターテイメントでは、感動的な青年メンバーのコーラスが聴衆の涙を誘い、子供たちのダンスは全体に希望と夢を与えました。

第2部では、今年5月に聖和した李炯燮前第7地区長のご夫人、江草美和子夫人から届いたメッセージが紹介。その中で江草夫人は「(李地区長は)金沢家庭教会を中心とする石川教区、第7地区全体の発展のため地上にいたとき以上に熱い想いで皆様一人ひとりの側にいると思います」と述べました。

また、徳野英治会長の祝賀メッセージを高松八寿夫第7地区長が代読。「今やこの金沢家庭教会は、全国でもトップクラスの素晴らしい教会聖殿となりました」とした上で、地元メンバーに対し「堂々と誇りをもって自ら

の氏族、知人、友人、そしてVIP達をこの金沢家庭教会へ連結し、神氏族メシヤの使命の勝利者になってください」と激励の言葉を贈りました。

来賓からの祝辞に続いて、鴨野守広報局長が記念メッセージで、「金沢家庭教会こそが、石川の霊的・倫理的な基準を決定するのです。その自覚と覚悟をもって地域の人々の希望となり、模範となる家庭をつくってください」と語りました。

抽選会が和やかな雰囲気で行われた後、石川教区壮年部長の音頭で力強く全体で億萬歳四唱を捧げました。

午後は、教会前に焼きそばやかき氷、綿菓子、ヨーヨー釣りなどの露店を出店。家庭連合時代にふさわしく、教会員たちは地域の人々と共に家族で楽しい一時を過ごしました。

今回のイベントには、再復帰の婦人などのほか、子供や孫と一緒に参加したメンバーも多く、「このような献堂記念式なら、来年は堂々と子供や兄弟に声をかけられる」といった声が上がっていました。

UNITE が全国 5 カ都市で 憲法改正を訴える

“改憲勢力”が憲法改正の発議に必要な3分の2以上の議席を確保した7月10日の参院選の結果を受け、国際勝共連合大学生遊説隊「UNITE」は17日、横浜、名古屋、三重（鈴鹿）、広島、福岡の全国5カ都市で街頭演説を行い、一日も早い憲法改正実現を呼び掛けました。

横浜・桜木町駅前では、同日午後3時過ぎから東京大学の学生を中心としたUNITEが、「国民の手で憲法制定」、「改憲なくして日本の再建なし」、「憲法9条ではこの国は守れない」などと書かれたプラカードを掲げ、様々な観点から憲法改正の必要性を訴えました。

今回の街頭演説は各地のマスコミから注目を集め、横浜では月刊誌の記者が街頭演説取材したほか、福岡・天神駅前での「UNITE FUKUOKA」の街宣活動も地元新聞社が取材を行いました。

全国25カ所で結成されているUNITEは、今後も憲法改正の機運を盛り上げるため、各地で街頭演説など様々な活動を展開していく方針です。



横浜で行われた街頭遊説

「北東京ユースフェスティバル」を開催

7月17日、「北東京ユースフェスティバル」が足立区内のホールで行われ、北東京教区の青年およそ300人が参加しました。

今回のフェスティバルのテーマは、「Let's Join us ～希望と挑戦～」。

参加者たちは、天の父母様、真の父母様に出会った感動と、VISION2020に向かう希望を胸に、大舞台上でダンスやバンド、スピーチなどに挑戦しました。

特にメインプログラムのミュージカルでは、他の為に生きる人生の素晴らしさをユーモアを交えて表現し、感動のあまり涙するメンバーも少なくありませんでした。

ある参加者は「天の父母様が、ステージ上で私たちと共に喜びたいの

だと感じて、感動しながら踊りました。天の父母様と真のご父母様を中心として兄弟姉妹が一つになる深い喜びを実感しました」と話していました。



感動を呼んだミュージカル

岡山家庭教会で献堂 5 周年記念礼拝

7月10日、岡山家庭教会で献堂5周年記念礼拝が多くの新規ゲストや来賓など約450人が参加して行われ、大復興のなか2020年に向けて決意を新たにしてお出しました。

記念礼拝では、徳野英治会長が「真の愛の価値」と題して説教。「家庭連合を堂々と証しすれば、家庭や夫婦の問題を悩んでいる人は相談してみたいとなるのです。人生で一番大切なものは愛情です。家庭連合こそ愛情を育む最高の訓練場であり、我々が主張する真の家庭運動が救国救世運動になるのです」と語り、参加者を激励しました。

説教に先立ち、岡山成和青年部のダンス、記念映像の上映、来賓挨拶、聖歌隊「スタークレイン」による歌などの後、岡山家庭教会の献堂以来、訓読と祈禱をして精誠を尽くしてきた「ハルモニ祈禱団」など3組が、これまでの教会発展への貢献が認められ表彰を受けました。

また、馬場明子岡山教区婦人代表が証しを行い、青木大岡山教区長が献堂5周年を祝賀するメッセージを贈りました。

最後は、和田康伸倉敷家庭教会長の音頭で億万歳四唱を行い、徳野会長や来賓による天運の飴まきをして盛況のまま閉会しました。



表彰を受けたメンバーと記念撮影する徳野会長（中央）

南東京でファミリーフェスティバル

7月23日、南東京教区主催の「ファミリーフェスティバル 2016」が孝成家庭教会（川崎市）で開催され、新規・再復帰のゲスト18人を含む73人が参加しました。

平和大使協議会中央会の小笠原真利講師の「結婚、家族、幸福について考える」がテーマの講話と、毎回恒例の家族紹介は参加者の心をつかみ、「祝福についてのマイナスイメージが払拭された」「結婚は自分の為にも必要だと分かった」「『祝福結婚で幸せになった』という既成家庭の家族紹介を聴いて、自分も祝福結婚を考えてみたくなった」など、今後祝福に向かっていく参加者の気持ちを後押しする形となりました。

南東京では、9月19日に都内のホテルで祝福式を行う予定で、神氏族メシヤ430双勝利に向けて多くの教会員が氏族や夫復帰の為に活用できるステージを準備しながら取り組んでいます。今回のファミリーフェスティバルを切っ掛けにして、次の祝福式の成功につなげ、今後もさらに祝福伝道を推進していく方針です。



家族紹介の一コマ

その他のイベント

○礼拝・修練会

第2地区「第7回中核リーダー研修会」(15日、仙台)
第8地区「第25回神氏族メシヤ修練会」(16、17日、名古屋)
高知教区オープン礼拝(17日)
西埼玉・大宮家庭教会「天一国の希望 SUNDAY SERVICE」(24日)

○書写・講演会

鳥取・米子家庭教会「幸せを呼ぶ自叙伝心の書写奉納式」(17日)
南福岡教区「自叙伝心の書写ファミリーフェスティバル」(18日)
宮城教区「幸せな家庭づくり講演会」(23日)
APTF 西北東京池袋支部「自叙伝心の書写『書写祭』」(24日)

伝道の証し

私の祈禱に応えて下さる天の父母様

福島教区いわき家庭教会 婦人代表 ^{ベ ソンニム} 裴 善任

尊貴なる天の父母様と勝利された天地人真の父母様の恩恵に感謝いたします。

クリスチャンであった私は1985年、22歳の時に天の導きを受けました。当時、純福音教会に通っていた姉が、いくらイエス様の名前で祈禱をしても眠れない日々が6ヵ月続きました。その時、777家庭のある先輩家庭の誘いで、姉は統一教会（現・家庭連合）の金曜夕拝に参加した後、ぐっすり寝られるようになりました。それが切っ掛けで姉は統一教会の礼拝に参加するようになりました。

ただ姉の夫は、姉が統一教会に行くことを嫌がり、私に「説得してほしい」と言ってきました。私は、当時通っていた純福音教会の担当牧師のアドバイスを受けながら姉を説得しました。

姉は、統一教会に通い始めて日が浅く家庭もあったので、独身だった私に「あなたが修練会に参加したら、あなたの決定に従う」と約束しました。その結果、7日修練会、21日修練会に参加した後、私は姉と一緒に統一教会に入教することになったのです。

◇ ◇ ◇

1988年、6500家庭の祝福を受け、92年4月に日本に来て家庭を出発。94年に今所属している福島県いわき市に還故郷しました。

当時は、韓日人教会があった郡山市まで車で2時間30分かけて通っていました。しかし、アルバイトをしていた夫の収入で様々な摂理に貢献した後は、教会に行くガソリン代がないので月1回しか行くことができず、十分の一条もするのが難しい生活に。私は天の前にとっても申し訳なく、「十分の一条の3倍の献金をできるようにしてほしい」と祈禱するようになりました。

私は、「世界平和女性連合」の会員として、地域の清掃活動や老人施設の慰問ボランティアなどをしながら活動する中で、病気になってしまい、日本での生活に自信を無くしてしまいました。

そこで、「真の父母様は、私たちが日本に病気になって死ぬように送り出したのではない。真の父母様のみ旨をこの世に誇ることのできる理想家庭をつくるために送られたのであれば、私を健康にしてほしい」と1年6ヵ月の間、天の前に駄々をこね毎日泣きながら祈禱しました。

その時の心情は、本当に韓国に帰りたい気持ちでいっぱいでしたが、見えない天の紐で結ばれている私であるということを悟り、信仰とは本当に恐ろしいものだと再認識しました。

私の祈禱に天が応えて下さり、健康を取り戻し、天の前に十分の一条の3倍の献金ができるようになるという願いまでかなえて下さいました。

◇ ◇ ◇

2003年からは伝道活動を通じ、真の父母様が私たちが日本に送って下さった意味と御心を少しずつ知るようになりました。

そして7年間の伝道活動を通して、日本での生活が感謝に転換されていきました。伝道活動をしながら、私自身の中にある堕落性を脱ぐため、常に人の良いところだけを見て、良い言葉だけを聞き、良い言葉を使う努力を継続。その上で、私自身を変えるため、毎日の生活の中で「感謝します」を何千回、何万回を叫ぶ中で、自然と人々の良いところを見ることができるようになっていきました。

このような努力の結果、10年間で約50人を受講決定。原理や父母様を証しし、感謝献金をするように導き、



裴さんの家族（右端が本人）

その中から13人を祝福につなげることができました。

他の宗教に30年ほど通っていたある40代の女性は、「理想家庭を成したい」と努力してきましたが、願いを果たすことができず、21年間勤めた大企業を退職することになりました。

この女性の母親を10年前に伝道しましたが、母親は娘の結婚のため精誠を捧げるという動機で原理を学ぶようになったものの、一度も私に娘さんをつなげてくれることはありませんでした。

私は天の前に「この婦人の娘さんにつなげてほしい」と熱い祈禱を捧げた後、その婦人宅を訪問。すると劇的にも娘さんは在宅していて、教会にも導くことができました。これが切っ掛けとなり、婦人は霊肉祝福を受け、娘さんも祝福を受けるための教育を始め、教会に懸命に通っています。

私と出会って3ヵ月で霊肉祝福を受けた宮本のおばあさんは、2011年3月11日の東日本大震災の津波で聖和されました。

おばあさんは、約2万人の犠牲者を天の父母様の前に引率する使命を託され、宋ヨンソプ総会長（当時）から「天一国烈女」という揮毫を頂きました。

震災でお嫁さんも一緒に犠牲になれましたが、驚くべき天の役事は、1年後に起こりました。なんと、おばあさんの孫娘が東京で伝道されたのです。

その後、お盆で故郷のいわき家庭教会に挨拶をしに来たとき、初めてその事実が明らかになり、孫娘もおばあさんが祝福を受けていたことを知りませんでした。今は、孫娘3人とおばあさんの長男が霊肉祝福を受けるという天の役事を見せて下さっています。

日々の伝道活動と並行し、氏族復帰へも力を注ぎ、氏族30人余りを集めて真のお父様の自叙伝配布と聖酒式を行い、夫の両親も祝福を受けました。

経済的には豊かとはいえませんが、会社員として約20年勤めながら、教会でも15年間二世部長を担当してきた夫、私が見てもうらやましいほど仲の良い息子たちに囲まれ、家族全員がいつも幸せで、笑みがこぼれる家庭を成そうと努力しています。

◇ ◇ ◇

私は、過ぎし30年余りの信仰の道を振り返ったとき

に、いつも天が私の道を導いて下さり、私の祈禱を聞いて下さっていたということを悟りました。

入教時にも、日韓祝福を受けて大変だった時にも、私がなんとか超えること

ができる程度の試練を下さり、私を鍛えて下さり、私の堕落性を脱がせて下さり、大きな祝福を下さった私の神様であるということを改めて悟るようになりました。

伝道生活12年を通して、天が私に願われていることが何であり、私が果たさなければならない責任が何であるかをずっと尋ねてきました。

すると、ある時真の父母様の声が聞こえ、「パンターナル精神」という答えを下さいました。私が好きなことだけをするのではなく、どんなことでもそのまま受け止め、私の中で消化する者へと1日も早く成長してほしいという天の願いを悟りました。

教会で基台長として活動していた時、基台長から降りてもっと伝道活動に専念できるようにしてほしいと真の父母様に懇切に祈禱を捧げましたが、むしろ天は昨年10月、13年間婦人代表を務めてこられた方の代わりに、不足な私を婦人代表の位置に立たせられました。

すべての食口が神氏族メシヤ活動に勝利し、救国救世の基盤を造成しなければならない今の時期に、先に模範を見せなさいという天のみ旨であることを悟りました。

また、去る20年余りの日本での生活を通して、私を導いてこれ、育てて下さった天の父母様と真の父母様が私を訓練するために与えて下さった試練であり、祝福であると考えています。

婦人代表として毎日右往左往する不足な者ではありますが、いつも私を守って下さり、私の祈禱を聞いて下さる天の父母様がいらっしゃることを信じ、真の父母様の心情の対象に立つ娘になるように今日も努力しています。



霊の子の婦人と一緒に